

# 黒潮圏セミナー

日本島嶼学会2013年次高知・柏島大会 基調報告

## 島とコモンズ：沿岸域の自然資源を守る人のかたまり

(高知大学大学院黒潮圏総合科学専攻・新保輝幸)

## 里海の創生：黒潮実感センター15年の経験をふまえて

(NPO法人 黒潮実感センターセンター長・神田優)

■日 時 2013年9月7日(土) 9:30～11:00

■場 所 高知大学朝倉キャンパス・メディアの森6Fメディアホール

■問合先 黒潮圏総合科学専攻事務室 ☎088-864-5786

**サンゴ礁やサンゴの海の保全にご興味のある方は是非ご参加下さい**

### 概要：

#### 島とコモンズ：沿岸域の自然資源を守る人のかたまり(新保輝幸)

フィリピン東方沖から台湾や南西諸島を経て日本に至る黒潮沿岸域(黒潮圏)では、多くの地域でサンゴの海が重要な意味を持っている。しかし近年、さまざまな人為的インパクトにサンゴの海の劣化が進んでいる。本報告では、その中でも過剰利用型の劣化、すなわち、スキューバダイビングなどのレジャーによる過剰な利用や、フィリピン等で問題になっている過剰漁獲・破壊的漁業による劣化に注目する。

このような劣化は、多くの人が他人の妨げなく利用できる資源が、占有することが難しいが故に我先にと皆が利用し、過剰利用に陥って劣化していくという「コモンズの悲劇」と同じ構造を持っている。近年の研究は、このような形で利用される資源の持続可能な利用のためには、利用者が共同して資源の利用を管理する組織を形成し、上手に管理していく必要があることを示している。

本報告では、高知県柏島のスキューバ・ダイビングをめぐる状況や、フィリピン・ルソン島南部のビコール地方の海洋保護区の事例を概観することを通して、人々がどのようにしてそのような組織を形成し、どのように資源の持続的利用に向かって努力しているかを検討する。

#### 里海の創生・黒潮実感センター15年の経験をふまえて(神田優)

本報告では、高知県大月町の柏島の地に設立されたNPO法人黒潮実感センター15年の経験を踏まえ、様々な主体が利用する「里海」が抱える問題点とそれを改善するための取り組み、利用しながら保全していくために必要なモニタリングや様々な取り組みを概観し、エコツーリズムの視点から考察すると共に、持続可能な「環境立島」を目指す「柏島里海憲章」の構想を紹介する。

**主催：日本島嶼学会 共催：高知大学黒潮圏総合科学専攻**

DCセミナー指定(博士)(文系)

黒潮圏セミナー指定(修士)(文系)